　近年翻訳ソフトの精度もかなり上がってきているが、それでも違和感のある翻訳になる場合が少なくない。どの国の言葉にも他の言語には置き換えられない固有の表現がある。

　英訳しにくい言葉のひとつに「木漏れ日」という言葉がある。これを言い当てる英単語はなかなか見つからないので「木々やその葉の隙間から差す陽の光」と英訳して元の文章に挿入すると、説明的な文章となり、作品本来の趣が全く損なわれてしまう。